

利用目標について

件名 R P S法の利用目標に関する意見

(団体としての意見提出です)

1. 氏名 「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク (GEN)

2. 連絡先

住所 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-21 戸田ビル 4F

電話番号 03-5366-1186

その他連絡先 (FAX 番号等) FAX : 03-3358-5359 E-mail : gen@jca.apc.org

3. 職業 / 所属団体

環境 NGO (環境市民団体)

意見の概要

2010年度で 122 億 kWh (1.35%) という目標値は余りにも小さいので、意欲的な大きな目標値を掲げるべき。またエネルギー源ごとに目標を達成できる仕組みとすべき。

意見及び理由

【利用目標に対して】

- ・2010年度で 122 億 kWh (1.35%) という目標値は、海外での目標値や日本での可能性と比べて、余りにも小さすぎる。
- ・政府の2010年の新エネルギー導入目標はエネルギー源別 (太陽光発電 482 万 kW など) であり、ここで総量のみで目標を達成すれば良いとするのは政策の整合性を欠く。エネルギー源ごとに目標を達成できる仕組みとすべきである (例えば英国で提案されている「バンド方式」、すなわち自然エネルギー技術ごとに目標値を設定しその中で競争を促す方策など)。

【基準利用量設定の考え方に対して】

- ・経過期間が長すぎるために、初期の市場が縮小し、とくに風力発電やバイオマス発電での計画を推計すれば、自然エネルギー市場の暴落が懸念される。
- ・肩代わりやボロウイングなどの柔軟性手段があることや、自然エネルギーの多くは短期間で手当てできることを考えれば、これほど長期にわたる経過期間は不要である。

【系統対策について】

- ・系統連系対策等の検討がまとまるまでの間 (3年間を目途)、特段の系統対策が生じない範囲にとどめるとする方針は、さらに自然エネルギー市場を縮小させるものである。
- ・現時点だけでも取り組める系統対策 (自然エネルギー事業者負担となっている系統対策費用に対する補助金など) に取り組むべきである。

以上